



Facebook 配信中！
今すぐアクセス!!



牧之原市議会だより

第 80 号

令和 7 年 10 月 15 日発行

(2025 年)

～ 9 月定例会号～

かけはし



令和 6 年度決算を審査！	4
一般質問通告取り下げ/市政を問う！一般質問	6
市政における課題解決へ(提言書提出)	7

御前崎中学校 職業講話での一場面

9月 定例会

市道路線についてを

慎重に審議！

議案への主な質疑

指定管理者の指定について(牧之原市さがら子生れ温泉会館)

牧之原市さがら子生れ温泉会館の管理運営に関し、市指定管理者選定委員会により審査および選定事業者を指定管理者として指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

指定期間について

問 なぜ今回の指定期間を3年間としたのか

答 さがら子生れ温泉会館は築19年が経過し、建物や設備機器の更新等が必要となる。維持基金だけでは約3年で維持管理が困難となる見込みであるため、民間の知識や資金力の導入も含め、安定した運営方法を検討するべく、指定期間を3年間に短縮した。

吉田町牧之原市広域施設組合規約の一部を変更する規約

第6号として「新火葬場の建設に関する事務」を追加し、ただし書きで、用地買収を除く実施設計以降の事務に限るものとするよう規定するもの。

関係市町との経費負担割合は

問 経費負担割合については「新火葬場整備に伴う覚書」に基づくべきだと考えるがいかがか

答 該当の覚書により各市町の負担割合と、これに基づき経費負担をする旨が既に決定している。そのため、本規約では経費の負担割合を明記せず、関係市町の協議により定めるとしている。

市道路線の廃止について 市道路線の認定について

道路法第10条第1項の規定に基づき市道路線の廃止を求めるもの。また道路法第8条第2項の規定に基づき市道路線の認定を求めるもの。

市道仁田30号線について

問 新設前段階の道路認定だが、その詳細は

答 市道の認定を行い土地収用法の該当事業として、税務協議を経て用地を買収、工事を実施することとなる。仁田30号線も本年度に一部用地の買収を予定していることから、市道の認定を行う。

市政に対する

総括的な質疑

ふるさと納税 中間事業者の変更

問 中間事業者を変更したこと
で寄附額が前年度比約2倍
になったとのことだが、有名企業
の返礼品の追加に伴い変更前から
寄附額は増えていたのではないか

答 この中間事業者には昨年度9月から寄附増加に向けたマーケティング、返礼品の開発などの事前準備を委託していた。返礼品の追加も一因ではあるが、大きな要因は事前準備にあったと考えている。



まきпейポイント還元キャンペーンについて

問 キャンペーンに参加されていない方への支援策は

答 スマホに不慣れな高齢者等に向け、プリペイドカードの導入や画面の操作説明をするなどしている。一人でも多くの方へキャッシュレス決済を勧めていく方針であり、まきпейを使わない方への支援策は考えていない。

論 討

市道路線の廃止について
市道路線の認定について

(大石議員)

対 反 榛原地域の義務教育学校校舎建設の前段階として既成

事実化するものであり、容認できない。また、現在の榛原中学校付近は洪水浸水区域である。リスク分散という危機管理の観点からも、学校再編の再考を求めたい。

(絹村議員)

賛 成 榛原地域義務教育学校建設事業に伴う市道や付け替え

道路の計画が確定し、本年度に用地買収を一部予定していることから、事業に先駆けて認定をする必要があるため、市道の廃止・認定は妥当であると考えている。

討 論

吉田町牧之原市広域施設
組合規約の一部を変更す
る規約

(太田議員)

対 牧之原市御前崎市広域施設
組合の区域の一部である相
良地区において、吉田町および榛原
地区を区域とする吉田町牧之原市
広域施設組合の規約が一部適用さ
れることが極めて不自然である。新
火葬場については、牧之原市、御前
崎市、吉田町が新たな2市1町の
一部事務組合を設置し、牧之原市が
管理市として運営していくべきだ
と考える。

と考える。

(名波議員)

成 今回の規約の変更は、新火葬
場の整備にあたり、吉田町牧
之原市広域施設組合が実施設計以
降の事務を行うために必要な変更
である。事業費の負担割合も、令和
6年2月に吉田町、御前崎市とそれ
ぞれ交わした「新火葬場整備等に伴
う覚書」により決定しており、また
規約の変更は、静岡県知事の許可が
必要となり、変更案について事前に
県との調整を行っており、変更内容
も妥当なものであると考える。

も妥当なものであると考える。

9月定例会 補正予算の審査

○今回の補正予算の主な内容

- ・相良総合グラウンド高圧受電設備更新工事に係る経費の計上
- ・今後の豪雨等に備えた経費の増額
- ・申請増による茶複合経営推進事業補助金の増額

トランス(変圧器)

の使用期限は

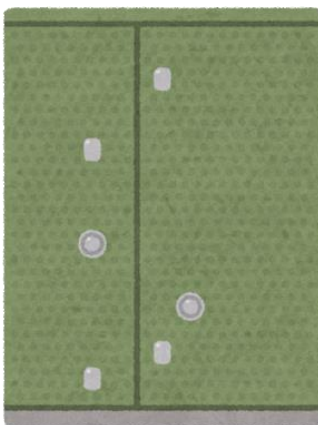
庁舎施設管理費(受変電装置更新工事)

2420万円増額

問 旧モデルのトランスについ
て、使用期限は決まってい
るのか

答

使用期限はなく、機器が動
く限りは使用できる。現在
使用している物は榛原庁舎がで
きた頃に導入した物であるため、今
年度新たなものに更新し、今後
20年ほど使えるようにする。



情報機器端末は4台も必要か

住民基本台帳関係事務費

114万1000円増額

問 マイナンバーカード、在留
カードの一体化情報機器端
末を購入することだが、4台
も必要なのか

も必要なのか

答

購入台数は在留者関連の事
務件数に応じて、出入国管
理事務所が算定している。昨年度
に新規で住居の届出をした方は4
62件、転入者は371件であり、
これらを鑑みた結果の台数であ
る。

討 論

令和7年度牧之原市一般
会計補正予算(第3号)

(大石議員)

対 当補正予算には、今定例会に
上程された市道路線の廃止
および認定の議案に関連する道路
新設に伴う委託料が計上されてい
る。これらは学校再編推進に関連す
るものであり、多くの問題を抱える
学校再編計画に反対する立場から、
この事業を進めることは学校再編
計画を既成事実化するものとして、
本議案には賛成できない。

(松下議員)

成 今回の補正予算は、定額減税
補足給付金の支給額に不足
が生じた方への追加給付、ふるさと
納税の寄付見込額増に伴う記念品
等の経費の増額や普通交付税の決
定等による財政調整基金の繰入金
の減額など市民生活や市の事業執
行に必要な予算の計上がされており、
妥当な補正予算となっている。

行に必要な予算の計上がされており、
妥当な補正予算となっている。



～令和6年度決算を認定～ 各会計における執行状況を確認！

会 計 名	歳入額	歳出額
 一 般 会 計	241億5163万4049円	231億3631万4688円
 国民健康保険特別会計	48億2491万4738円	46億1475万6137円
 後期高齢者医療特別会計	7億308万3333円	7億6833円
 介護保険特別会計	44億9696万2821円	43億6577万1400円
 土地取得特別会計	1868万6983円	1868万6983円
 農業集落排水事業特別会計	886万5831円	748万163円
 水道事業会計	収益的 9億9590万9832円 資本的 9281万4943円	収益的 10億369万6767円 資本的 2億6334万2895円

決算審査での主な質疑

市財政の今後の見通しは

問 実質公債費比率が前年比0.2%上昇したが、大型事業や災害復旧を控える中で市財政の今後の見通しは

答 合併当初は財政健全化法に基づき将来負担が300億程あったが、現在は200億に減っている。財政健全化比率が今後上昇する可能性はあるが、現在のところ、問題ないと見込んでいる。

地頭方子ども園

統合後の変化は

問 統合による教育・保育環境の変化をどのように捉えているか。以前と比較し管理費・運営費は削減されたか

答 統合により社会性を育むのに必要な集団規模を確保でき、適切な教育・保育が提供できたと考えている。管理費・運営費については人件費等を含めると、約1650万の減額となった。

まきチャレに関する委託料と賞金の詳細は

問 具体的に何を委託しているのか。また賞金総額とその財源は

答 ビジネスコンテストの開催について、企画、周知、審査員の依頼および審査等を委託している。賞金総額は195万円で協賛金から充当している。

空き家に関する補助金について

問 予算に対してどれほど補助金が使われたのか

答 空き家活用リフォーム等補助金は、予算額280万に対して執行額が160万円。予算の57.1%ほどが使われている。



農業者に対する物価高騰対策
事業費が無くなった理由は

問 令和5年度までであったはず
だが、令和6年度決算にこ
の項目が無いのはなぜか

答 支給項目等は異なるが物価
高騰対策の補助は現在もあ
る。令和5年度までは光熱費の支
援（上限15万円）をしており、
令和7年度からは茶業振興協議会
の補助金として、イベントや展示
会等へ出展する茶業者に支援をし
ている。

相良地域義務教育学校の
地権者に対する説明は

問 地権者からの反対意見はな
かったのか。また設計にあ
たり行った、業者・関係課との定
期的な打合せの内容は

答 住宅移転先の相談はあった
が、訪問や継続的な説明を
行っているため反対意見はなく、
全員から同意をいただいている。
設計は造成や進入路等の施工方法
を含み決めるもので、道路建設や
開発行為に係るある建設課、都
市住宅課と共に打合せをした。

市当局に最優先で災害対応に取り組んでもらいたいという判断の下、この度の決算連合審査は特例として通告制としました。

～議決結果と概要～

・9月定例会（全て全会一致）

件 名		結果	概 要
報告	専決処分の報告について	可決	郵便料金の支払い遅延により生じた遅延損害金に関する専決処分。
人事案件	公平委員会委員の選任について	同意	公平委員会委員に「長谷川延明」氏を選任するもの。
	教育委員会委員の任命について	同意	教育委員会委員に「吉住幸子」氏を任命するもの。
決算認定	令和6年度牧之原市一般会計歳入歳出決算の認定について ※	認定	歳入決算額：241億5,163万4,049円 歳出決算額：231億3,631万4,688円
	令和6年度牧之原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について ※	認定	歳入決算額：48億2,491万4,738円 歳出決算額：46億1,475万6,137円
	令和6年度牧之原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について ※	認定	歳入決算額：7億308万3,333円 歳出決算額：7億6,833円
	令和6年度牧之原市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について ※	認定	歳入決算額：44億9,696万2,821円 歳出決算額：43億6,577万1,400円
	令和6年度牧之原市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入決算額：1,868万6,983円 歳出決算額：1,868万6,983円
	令和6年度牧之原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入決算額：886万5,831円 歳出決算額：748万163円
	令和6年度牧之原市水道事業会計決算の認定について	可決	収益的収入決算額：9億9,590万9,832円 収益的支出決算額：10億369万6,767円 資本的収入決算額：9,281万4,943円 資本的支出決算額：2億6,334万2,895円
条例改正	牧之原市火入れに関する条例の一部を改正する条例	可決	注意報名称が現行制度と異なるため、条例全体の字句の見直し含め所要の改正を行うもの。
	牧之原市都市公園条例の一部を改正する条例	可決	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令」の改正に伴い、引用している条番号にずれが生じたため改正を行うもの。
補正予算	令和7年度牧之原市一般会計補正予算（第3号）	可決	6億2,921万5,000円を増額し、予算額を258億6,194万9,000円とするもの。
	令和7年度牧之原市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	4,220万8,000円を増額し、予算額を45億722万8,000円とするもの。
その他	指定管理者の指定について（牧之原市さがら子生れ温泉会館）	可決	牧之原市さがら子生れ温泉会館の指定管理者に「子生れ温泉会館管理運営共同事業体」を指定するもの。
発議議員	牧之原市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	重大な感染症のまん延や災害の発生等により、委員が委員会に参集することが困難であると認める場合に、映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話ができる方法（オンラインによる方法）で、委員会を開会することができるもの。

※大石議員は議場から退室したため、※の表決には加わっていません。

・9月定例会（賛否が分かれたもの）

○：賛成 ●：反対 ※議長（村田）は採決に加わりません		結果	石山	谷口	絹村	名波	加藤	木村	松下	種茂	濱崎	植田	太田	中野	大石	原口	村田	概 要
改定条例	吉田町牧之原市広域施設組合規約の一部を変更する規約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	第3条の組合の共同処理をする事務に新たに第6号として「新火葬場の建設に関する事務」を追加し、同条のただし書きで、その事務は用地買収を除く事務設計以降の事務に限るとするもの。
予算補正	令和7年度牧之原市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	3億3,265万7,000円を増額し、予算額を261億9,460万6,000円とするもの。
その他	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	市内2路線を認定するもの。
	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	市内2路線を廃止するもの。

災害対応を
最優先に!

5名の議員が一般質問を取り下げました

市当局に最優先で災害対応に取り組んでもらいたいという判断の下、通告書を提出していた5名の議員から、通告を取り下げる申し出がありました。どのような一般質問がされる予定であったのか、ぜひご覧ください。今後も牧之原市議会では市と協力し復旧復興に取り組む所存です。一日でも早い復旧復興を心からお祈り申し上げます。

《一般質問 通告取り下げ一覧》

議員氏名		件 名
1	名波 和昌	1 世代別人口減少と人口流入促進について
2	谷口 恵世	1 地域医療の将来像と命を守る仕組みについて
3	濱崎 一輝	1 複合災害に備えた現実的な避難体制について
4	加藤 彰	1 不登校支援について
5	石山 和生	1 中学の部活動の今後のあり方について 2 区会からの要望書の取り扱いについて

市政を問う!! 一般質問

大井川への全量戻しできるのか

【質問概要】

リニアの先進坑が静岡県境に迫っている懸念を質問した。

大石 和央

質問の様子
はこちら
動画配信中!



問 代替案である田代ダム取水抑制の期限が来年4月までであり、先進坑の進捗や県内でのボーリング調査期間を考慮すると、計画はすでに破綻しているのではないかと不安があるので、R東海に説明を求めていく。また県にも意見を申し上げ、事前の対策を講じる必要がある。

答 令和6年度に実施した高速長尺先進ボーリングのデータを基に掘削が進められており、湧水量は1メートル当たり0・01立方メートルを基準として管理フロアが構築されている。

問 今年6月2日に水資源について、JR東海との対話が完了したというが、リスク管理やモニタリングの実効性に不安はないか

答 県内でのボーリング調査結果によっても、前提条件以内なのか、それよりも外れるのかによって、その後の対応は大きく変わってくる。



【訂正とお詫び】第79号10ページ『一般質問（防潮堤の建設進捗状況は）』に誤りがありました。訂正しお詫びします。
【訂正箇所】(誤) 地頭方地区 (正) 地頭方工区

総務建設委員会

移住・定住人口増加に向けた職住近接施策について（要旨）

全文はこちら



1. 企業誘致と起業支援について

- ・クリエイティブや美容など多種多様な企業誘致と新分野での起業支援を検討すること。
- ・公共施設等を活用し、Wi-Fi 完備のコワーキングスペースなどを拡充させること。また、入居者同士が交流できる場や定期イベントができる環境整備をサポートすること。

2. 移住・定住施策の促進について

- ・PFI 方式による住宅供給について、官民連携で先進自治体への視察を含む調査研究を進めること。また、学校跡地を宅地分譲地として整備し、大学や専門学校などの誘致を検討すること。
- ・短期移住や体験施設の充実、支援補助金の創設で地域理解を促進すること。併せて、市独自の施策や魅力を多様なメディアで発信、補助制度を充実させ幅広い層の移住促進を検討すること。
- ・多文化共生施策を強化し、国内外を問わず移住者同士が交流・相談できる場やコミュニティ形成が行える環境整備を支援すること。
- ・官民連携で更なるスポーツ施設の整備や大会誘致を検討すること。

3. 空き家対策について

- ・空き家バンクについて、利便性の高い専用 HP を構築、また登録を促進する施策を検討すること。
- ・売却や解体、補助金、管理方法など、空き家に関する情報をまとめた冊子を民間企業と連携して制作し、広告を掲載することで広告費から財源確保を検討すること。
- ・空き家活用リフォーム制度を誰でも利用でき、リノベーションにも対応可能な制度にすること。
- ・市独自の空き家解体費補助制度の創設と、解体後の税制優遇措置（期限付き）を検討すること。

4. 交通利便性の向上について

- ・既存のバス等のほか、誰でも、手軽な料金で利用できる複数の移動手段を検討すること。
- ・自動運転バスについて、先進自治体への視察や調査研究を行い、導入に向けた準備を進めること。

文教厚生委員会

子どもの未来をつくるための環境整備について（要旨）

全文はこちら



1. 子どもの権利について

- ・「児童の権利に関する条約」の理念を基に、「牧之原市子ども条例（仮称）」の制定に向けた体制づくりを行うこと。また子どもの声を市政や学校運営に反映できる仕組みづくりに取り組むこと。

2. 学びの多様化について

（1）支援体制について

- ・子どもが自分に合った学習方法などを選択できる「学びの多様化学校（分教室等含む）」等の設置を検討すること。その設置場所として学校跡地の活用も視野に入れること。
- ・不登校児童・生徒の多様化する学びのニーズへの対応と早期の学校復帰のため、校内教育支援センターを全校に設置し、各中学校区へ教育支援センター「フルール」の増設を検討すること。
- ・学校と民間事業者が連携し、子どもにとって通いやすい柔軟な学びの場の提供に努めること。
- ・教育、福祉、保健にかかる部署が連携し、一体的な支援ができる体制を構築すること。
- ・不登校児童・生徒へは「子どもにとって最適な学びの場はどこか」を第一に考え、社会的自立を重視した支援を行うこと。また不登校が問題だという固定観念の払拭のため、意識改革を進めること。

（2）新たな義務教育学校について

- ・子ども主体の「未来の教育」を見据えた取り組みとすること。不登校児童・生徒への対応、多様な学びの保障といった観点から施設内に別室登校や個別支援のための空間を設けること。
- ・子どものコミュニケーション能力を高める教育を推進すること。子どもたちが人との関わりに自信を持ち、安心して学校生活を送れるよう支援すること。

「台風 15 号災害対応に関する要望書」を提出しました

令和 7 年 9 月 5 日発生の台風 15 号により被害を受けた市民の皆さまへ、心よりお見舞い申し上げます。一日でも早い復興を目指し、牧之原市議会では災害対応に関する要望書を市長へ提出しました。今後も市と協力し、復旧復興に取り組んでまいります。

「台風 15 号災害対応に関する要望書」(要旨)

1 激甚災害の認定について

速やかな復旧を進めるために、激甚災害として早期認定を行うよう国に対して要請すること。

2 災害廃棄物の処理について

災害廃棄物の処理について、国に対して予算確保および早期の採択を要請すること。

3 財政支援について

国においても必要な補正予算を編成するとともに、災害復旧事業および災害関連予算の確保や特別交付の特例的な増額配分を要請すること。

4 被災者支援について

支援に関するワンストップ窓口を設置すること。あわせて、心の相談窓口も設置し、市民に寄り添った支援体制を整えること。

5 職員の心身のケアについて

国、県、他市町への応援要請を積極的に行い、人員を確保するとともに、市職員の心身のケアを実施すること。

議会を傍聴してみませんか

11 月臨時会の日程

11 月 13 日 (木)

提案説明・審議・採決

選挙後の初議会となります。
正副議長の選挙や委員会委員の選任などの議会構成に関することの決定や、市長から提出される議案審議を行います。

11 月定例会の日程

CHECK 〇〇

11 月 25 日 (火) 提案説明

12 月 5 日 (金) 通告質疑

10 日 (水)

11 日 (木)

12 日 (金)

一般質問

19 日 (金) 審議・採決

※補正予算連合審査会 12 月 15 日 (月)

今号の表紙

御前崎中学校
職業講話での一場面

2 年生では総合的な学習の時間に「職業や自己の将来」に関する探究的な学習を行っています。生徒は様々な職種から興味のある 2 職種を選択して体験やお話を聞きました。CSD や地元の企業等の協力により成り立っています。

議会広報特別委員会

委員長

副委員長

委員

(種茂)

先日の台風 15 号の被害に遭われた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。議会広報特別委員会にて、4 年間「かけはし」を編集してまいりました。議会の構成や仕組みを学ぶ機会にもなり、支えてくださった皆様には感謝の念に堪えません。今号が現委員で発行する最後の「かけはし」となりますが、これからもご愛読くださいますよう、よろしくお願いいたします。

(種茂)

種茂 和男

絹村 智昭

松下 定弘

木村 正利

谷口 恵世

石山 和生